

新内容項目対応版

■学習指導要領準拠■

[ゆたかな心—新しい道德—]指導資料

# 道德の年間指導計画例

●「『わたしたちの道德』との関連」付き●

2年

株式会社光文書院

## 本書の使い方〔先生がたへ〕

1. 「主題のねらい」を具体的に示し、【評価の観点】としても活用できるよう記しました。
  - 心のあり方だけではなく、行動力の育成も視野に作成しています。
  - 総括的な「◎ねらい」をさらに分析し、具体的な「\*ねらい」によってわかりやすく示しました。
  - 具体的な「\*ねらい」は、
    - ・どのような感動を期待するか
    - ・どのような道徳的理解や判断力を期待するか
    - ・どのような自分のよさを期待するか
    - ・どのような生き方（実践意欲や態度）を期待するかという観点に基づいて表記しています。
  - 「\*ねらい」の表現方法も、評価の観点としての活用をふまえ「……心が動く」「……わかる」「……しようとする」「……課題をもつ」など、子どもの立場に立った表記をしています。
2. 「展開の概要」を多様化しました。
  - 道徳の授業は、さまざまな学習活動によって成り立っていますので、発問の乱発を避け、より具体的な授業展開を描くことができるよう、多様な活動を示しました。
  - “授業は特定の教師と特定の子どもによってつくられる作品である”という立場に立ち、発問も子どもの違いによって変わるものとしてとらえ、授業構想を示しています。
  - 「展開の概要」をもとにして、「子どもの実態に即した発問」を工夫し授業を行うことを想定した展開になっています。
3. 「関連・連携」を強化しました。
  - 道徳教育は、道徳の時間を要として、学校における全教育活動における道徳教育と関連を図るとともに、家庭や地域社会における道徳教育と連携をとって行うものであるという文部科学省の考えに基づいて、関連や連携例に力を入れて示しました。
  - これを受けて、授業後の子どもの活動を促す「発展」を指導書（研究編）に提示し、児童書の最後にその内容を子ども向きの表現で示しています。
4. 『ゆたかな心』と『わたしたちの道徳』のそれぞれの特長を生かして、より効果的に活用するための計画案を示しています。
  - 『わたしたちの道徳』と併用しやすい工夫を加えました。
  - 道徳授業を深める『ゆたかな心』と、それを広げる『わたしたちの道徳』の効果的な関連方法を表記する欄を設けました。
  - 『わたしたちの道徳』の読み物資料を計画例に加え『ゆたかな心』の資料と選択できるよう配慮しました。

※2016年度改訂版『わたしたちの道徳』で追加された新内容項目の資料との対応表です。必要に応じて、ご利用ください。

月	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例	『わたしたちの道徳』との関連
【わたしたちの道徳】まんがが すき—まんが「サザエさん」を作った 長谷川町子—〔主題名／よいところを 見つけたよ〕〈個性の伸長〉				
月				<p>【導入】P158を活用して、自分のよいところはどんなところかを考えさせる。</p> <p>【終末・発展】P159～P161を活用して、自分や友達の良いところを考えさせたり、教え合ったりさせる。</p>
【わたしたちの道徳】みんなと なかよく〔主題名／みんなと なかよく〕〈公正、公平、社会正義〉				
月				<p>【導入】P166, P167を活用して、「してよいこと」と「してはいけないこと」の見分け方を考えさせる。</p> <p>【発展】P168・P169を読み、自分が「うさぎさん」だったら、どうするかを考えさせる。</p>
【わたしたちの道徳】ほかの 国の ことを 知ろう〔主題名／ほかの 国の ことを 知ろう〕〈国際理解、国際親善〉				
月				<p>【発展】P170～P173を活用して、世界の国々のことを調べ、思ったことをまとめさせる。</p>

月	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例	『わたしたちの道徳』との関連
---	--------	-------	----------------	----------------

**重点主題**

- 1 できるね ポンタくん
- 2 そこだね ポンタくん

▶ 重点主題名／まい日を 気持ちよく〔基本的生活習慣〕

**【重点主題のねらい】**

◎基本的生活習慣を身につけて、毎日気持ちよい生活をするために、よく考えるようにする。

- \* 日常生活の中で、ちゃんとできなかつたときは、どうすればよかつたかを考えることが大切なことに気づく。
- \* 基本的生活習慣が身につくということとは、どうすればいいかを考えるとより気持ちのよい生活になることがわかる。
- \* 日常のさまざまな場面で、よく考えて自分からきちんとやることを身につけ、気持ちよい生活をしようとする。

1. できるね ポンタくん【主題名／気持ちの よい 学校の せいかつ】〈節度、節制 / よりよい学校生活、集団生活の充実〉

4 月	◆本時のねらい ○ついやりすぎてうまくいかないときは、どうすればいいかを考えるとちゃんとできることがわかる。 ○ちゃんとできると明るい気持ちになることに気づき、毎日続けたいと思う。	1 ちゃんとできるようになったことを想起して発表する。 2 資料『できるね ポンタくん』を読んで、話し合う。 3 ポンタくんが、ちゃんとできるようになっていくことを想像して、発表する。	●資料の道徳的・教育的意味 慣れてきた学校生活で、つい遊びすぎたり失礼な言葉づかいを忘れてしまったり場面から、どうしたらちゃんとできたかを考えさせる話である。そこから、考えながらやると、まわりの人も気持ちよく過ごせることに気づかせることができる。
--------	--	--	--

2. そこだね ポンタくん【主題名／気持ちの よい いえの せいかつ】〈節度、節制 / 希望と勇気、努力と強い意志〉

4 月	◆本時のねらい ○失敗をしても、どうすればいいかを考えると、ちゃんとできることがふえることがわかる。 ○自分でちゃんとできるように考えたことを見つけて、毎日をもっと気持ちよく過ごそうとする意欲をもつ。	1 家の生活で、ちゃんとできるようになったことと、うまくできなかったことを想起して発表する。 2 資料『そこだね ポンタくん』を読んで、話し合う。 3 ポンタくんが、ちゃんとできるようになっていくことを想像し、ちゃんとできるように考えたことも発表する。	●資料の道徳的・教育的意味 1 時間目の学習を受けて、家庭生活でもうまくできなかったりついやりすぎたりして失敗してしまう場面から、どうしたらちゃんとできるようになるのかを考えさせる話である。失敗しても、そこからどうしたらいいかを考えることは、ちゃんとできることがふえていくことに気づかせる。そして、具体的な場面を通して自分たちの成長に喜びを感じさせ、よりよい生活をするために考えながら生活することは、毎日気持ちをよく過したいという心を高め、基本的生活習慣を身につけさせていくことができる。	【導入】 P12～P15 を活用して、今の自分の生活を振り返る活動をさせる。 【発展】 P10・P11 を活用して、どうするともっと気持ちのよい生活になるか話し合わせる。
--------	--	--	---	--

月	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例	『わたしたちの道徳』との関連
【わたしたちの道徳】るっぺ どう したの【主題名／きそく 正しく 気持ちの よい 毎日】〈節度、節制〉				
4 月				<p>【導入】P10・P11 を活用して、規則正しい生活ができていくかという意識をもたせる。</p> <p>【展開後段】P12～P15 を活用して、資料『るっぺ どう したの』で学んだことを確かめ、どうすれば気持ちよくすごせるか考えさせる。</p> <p>【発展①】P12～P15 を活用して、学校生活だけではなく家庭生活など継続的にみつめさせる。</p> <p>【発展②】P20・P21 を活用して、自分の生活リズムを調べさせる。</p>
3. おもいきって いってごらん【主題名／あいさつパワー】〈礼儀〉				
4 月	<p>◎気持ちのよいあいさつができるように心がけて、明るく接する。</p> <p>*元気にあいさつをすると、自分も相手も元気がわき、お互いに明るく、いい気持ちになることがわかる。</p> <p>*あいさつは、時・場・相手によって異なり、その使い分けがあることがわかる。</p> <p>*自分も元気にあいさつをして、明るく生活しようとする。</p>	<p>1 今日、起きてから何人ぐらいの人にあいさつしたか、あいさつされたかを思い出し、そのときの気持ちを発表する。</p> <p>2 資料『おもいきって いってごらん』を読んで、話し合う。</p> <p>3 「あいさつパワー」で元気にあいさつするとどのようないいことがあるか、自分の気持ちやまわりがどんなふうになるかを話し合う。</p> <p>4 「あいさつパワー」であいさつをすると、いい気持ちになることを思い出して発表する。</p>	<p>①道徳の授業……資料『おもいきって いってごらん』を読んで、話し合わせる。〔本時〕</p> <p>②学級活動……あいさつを続けようと思ったとき、どのようなあいさつがあるか出し合って確かめさせる。</p> <p>③国語や生活科の時間……「あいさつカルタ」を作り、そのカルタで遊ぶ。</p> <p>④課外や家庭……あいさつを習慣化するために、保護者にも呼びかける。</p>	<p>【導入】P54・P55 を活用して、あいさつは、いろいろあることを想起させて、資料の読みに入らせる。</p> <p>【終末】P58・P59 を活用して自分たちの「あいさつパワー」について考えさせる。</p> <p>【発展】P57 を活用して、あいさつを広げる活動をさせる。</p>
【わたしたちの道徳】たびに 出て【主題名／気持ちの よい ふるまいを】〈礼儀〉				
4 月				<p>【展開後段】資料『たびに 出て』で学んだことを P58 を活用して、あいさつを通して感じ取れる心についてまとめさせる。</p> <p>【終末】P59 を活用して、生活の中にある多くの礼儀を調べる活動をさせる。</p>

月	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例	『わたしたちの道徳』との関連
4. げんかんそうじ【主題名／かぞくの ために できる こと】〈家族愛，家庭生活の充実〉				
5月	<p>◎家族が自分の生活を支えていることに気づき、それに応えようとする気持ちを持ち、進んで手伝いをしようとする。</p> <p>*助け合ったり、楽しさをつくり合ったりしている家族の話聞いて、いいなあと心が動く。</p> <p>*みんなで支え合い、助け合ってこそ楽しい家族になることがわかる。</p> <p>*大切な家族のために、自分もできることをしようとする。</p>	<p>1 教師が示した絵を見て、家族のいいところを出し合う。</p> <p>2 資料『げんかんそうじ』を読んで考える。</p> <p>3 いつもしてもらっていることの中で、自分でできそうなことを表にまとめる。</p>	<p>①道徳の授業……資料『げんかんそうじ』を読んで、話し合わせる。〔本時〕</p> <p>②家庭との連携……手伝いの機会を設けてもらい、手伝いをした自分の感想や、家族からの感想を帰りの会などで紹介させる。</p> <p>③生活科……「わたしのかぞく」を受けて、家族の中での自分の役割を考えさせる。</p>	<p>【導入】P139 を活用して、家族のあたたかさに気づき、学習の視点をもたせる。</p> <p>【展開後段】P140・P141 を活用して、家族のためにできることはないか、発想を広げさせる。</p> <p>【終末】P143 を活用して、家族の役に立ったことを見つける活動をさせる。</p>

5. 学校 大すき【主題名／先生 大すき】〈よりよい学校生活，集団生活の充実〉

5月	<p>◎先生を敬愛し、学校の人々に親しんで、学級や学校を楽しくしようとする。</p> <p>*先生はいつも自分たちのことを考えてくれていることや、先生は自分たちにはない力をもっていることに気づく。</p> <p>*「先生ありがとう」という気持ちや、「先生はすごいな」という尊敬の気持ちをもつことができる。</p> <p>*明るく楽しい学級にするために、自分たちでできることはやろうとする意欲をもつ。</p>	<p>1 学校で自分たちのためにいろいろと世話をしてくれる人について話し合う。</p> <p>2 資料『学校 大すき』の絵を見て、話し合う。</p> <p>3 先生方や学校のために、みんなでできることをさがす。</p>	<p>①道徳の授業……資料『学校 大すき』を読んで、話し合わせる。〔本時〕</p> <p>②生活科……学校探検などで、自分の学校の好きなどところを見つけさせる。</p> <p>③学級活動……より楽しい学級にするためにできることはないかを考え、話し合わせる。</p> <p>④帰りの会……「今日のできごと」などで、お世話になった先生について発表させる。</p> <p>⑤児童会活動・学級活動……感謝集会などで、先生や働く人にお礼の手紙を書いて届けさせる。</p>	<p>【導入】P144・P145 を活用して、自分たちのためにいろいろな世話をしてくれる人がいることに気づかせて資料に入る。</p> <p>【終末】P147 を活用して、自分たちができることをまとめさせる。</p> <p>【発展】P149 を活用して、自分の学校のたからものを探す活動をさせる。</p>
----	---	---	--	---

月	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例	『わたしたちの道徳』との関連
6. とりの たまご —ジャン=アンリ・ファーブル—【主題名/しぜんに したしむ ころ】〈自然愛護〉				
5月	<p>◎動植物に対する優しい心をもち続け、親しみ接することで身近な自然とともに生きようとする。</p> <p>*動植物を大切に守ろうとする優しい気持ちがあることに気づく。</p> <p>*動植物と共に生きている愛おしさがわかる。</p> <p>*動植物に優しい心をもって親しみ接する意欲をもつ。</p>	<p>1 好きな動物や植物はないか交流する。</p> <p>2 資料『とりの たまご』を読んだ感想を話し合う。</p> <p>3 動植物にどう接するのかを考える。</p>	<p>①道徳の授業……資料『とりの たまご』を読んで、話し合う。〔本時〕</p> <p>②生活科……「いきものとなかよし」などの題材で、身近な生き物をつかまえたり、観察したり飼育したりする。</p> <p>③日常生活……飼育当番活動などを通して、動植物に直に触れ合う経験や体験をつむ。</p> <p>④読書活動など…ファーブル昆虫記など、ファーブルの生き方に対する考え方を読む。</p>	<p>【導入】P103 を活用して、学習の視点をもたせる。</p> <p>【発展】P104・P105 を活用して、生きものや自然に親しむ内容の読書へ広げさせる。</p>
【わたしたちの道徳】虫が 大すき —アンリ・ファーブル—【主題名/生きものに やさしく】〈自然愛護〉				
5月				<p>【導入】P103 を活用して、学習の視点をもたせる。</p> <p>【発展】P104・P105 を活用して、生きものや自然に親しむ内容の読書へ広げさせる。</p>
7. おとうとの たんじょう【主題名/いのちの たんじょう】〈生命の尊さ〉				
5月	<p>◎自分の命は、家族の願いを受けて生まれてきたことや、自分の命には生きようとする力があることを知り、自分の命を大切にしようとする。</p> <p>*自分の名前にこめられた家族の願いがわかる。</p> <p>*自分の命は生きようとする力をもっていることがわかる。</p> <p>*自分の命を大切にするために、元気に生活していこうという意欲をもつ。</p>	<p>1 命の大切なわけを話し合う。</p> <p>2 資料『おとうとの たんじょう』を読んで、話し合う。</p> <p>3 自分の命に寄せられた家族の気持ちや、自分の出している「生きているサイン」について話し合う。</p> <p>4 命が大切なわけについて、この勉強でわかったことをまとめる。</p>	<p>①道徳の授業……資料『おとうとの たんじょう』を読んで、話し合わせる。〔本時〕</p> <p>②家庭生活……自分の名前の由来を聞くように指導する。</p> <p>③生活科の時間…自分の成長を調べてまとめさせる。</p> <p>④日常生活……自分の成長を父母に聞いてみようという活動をさせる。</p>	<p>【導入】P90 を活用して、いのちはどうして大切なのかを話し合わせる。</p> <p>【展開後段】P92・P93 を読んで「生きているサイン」について考えを広げまとめさせる。</p> <p>【発展】P91 を活用して、自分の名前にこめられた思いを知り、資料『おとうとの たんじょう』から学んだことを広げさせる。</p>

月	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例	『わたしたちの道徳』との関連
【わたしたちの道徳】ハムスターの 赤ちゃん〔主題名／いのちを大切に〕〈生命の尊さ〉				
5月				<p>【導入】P100・P101を活用して、生きることについて考えさせ、資料の読みに入るようにする。</p> <p>【発展】P92・P93を活用して、自分が生きていることを感じとらせ、資料『ハムスターの 赤ちゃん』で学んだことを広げる。</p>
8. くろぶたの しっぱい〔主題名／きまりを まもる 力〕〈規則の尊重〉				
6月	<p>◎みんなが使う物や場所を大切にし、約束やきまりを守る。</p> <p>*みんなが使う物と自分だけが使う物との区別ができる。</p> <p>*みんなが気持ちよく使うためには、自分勝手なことをしてはいけなことがわかる。</p> <p>*きまりを守り、人に迷惑をかけないようにして、みんなで気持ちよく過ごそうとする。</p>	<p>1 身のまわりにはどんなきまりがあるか、知っているきまりを出し合う。</p> <p>2 資料『くろぶたの しっぱい』を読んで、みんなが使う物や場所を大切にすわけについて考える。</p> <p>3 くろぶたさんの失敗をもとにきまりを守るための言葉を出し合い、それを「きまりを守る力」と名づける。</p> <p>4 自分にもきまりを守るために「きまりを守る力」があったことを思い出して発表する。</p>	<p>①道徳の授業……資料『くろぶたの しっぱい』を読んで、話し合わせる。 [本時]</p> <p>②学級活動……自分たちの生活を振り返って、いろいろな日常場面でのきまりについて話し合わせる。きまりがあるとみんなが気持ちよく過ごせるということを話し合わせ、クラスのきまりを作らせる。</p> <p>③帰りの会……「きまりを守る力」が出せたことを発表し合わせる。</p>	<p>【導入】P121を活用して、きまりがあるわけを発表し、問いをもたせる。</p> <p>【終末】P122・P123を活用して、どのように使えば「きまりをまもる力」になるのか考え、実行する意欲を高めさせる。</p>
【わたしたちの道徳】黄色い ベンチ〔主題名／やくそくや きまりを まもって〕〈規則の尊重〉				
6月				<p>【導入】P122を活用して、みんなが使うものについてのきまりやマナーについて考えさせ、資料の読みに入るようにする。</p> <p>【終末】P123を活用して、まとめの活動をさせる。</p> <p>【発展】P128・P129を活用して、きまりやマナーを調べる活動をさせる。</p>



月	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例	『わたしたちの道徳』との関連
9. ぐみの木と 小鳥〔主題名／おもいやりの ところ〕〈親切、思いやり〉				
6月	<p>◎身近にいる人と人との間には思いやりの気持ちがたくさんあることを知り、その気持ちを大切にしようとする。</p> <p>*自分の身近にいる人に温かい心でかわっている人の話を聞いて感動する。</p> <p>*相手の気持ちを思いやることの大切さがわかる。</p> <p>*相手の気持ちを考え、自分にできることをしようとする意欲をもつ。</p>	<p>1 資料の登場人物（ぐみの木、小鳥、りす）を知り、だれが親切だろうという疑問をもつ。</p> <p>2 資料『ぐみの木と 小鳥』を読んで、話し合う。</p> <p>3 自分たちの身のまわりにある、思いやりの心について話し合う。</p> <p>4 思いやりの行動についての話をする。</p>	<p>①道徳の授業……資料『ぐみの木と 小鳥』を読んで、話し合わせる。〔本時〕</p> <p>②日常生活……身近な人から親切にしてもらってうれしかったことを「しんせつカード」に書かせることにより、自分たちの行為の中にもたくさんの思いやりの心があることに気づかせる。</p> <p>③生活……「あたたかい ところを とどけよう」というノートのコーナーをつくり、自分が身のまわりの人にしようと思っていることを記入させる。</p>	<p>【導入】P66・P67 を活用して、どんな気持ちで親切をしているのか考えることで、学習の視点をもたせる。</p> <p>【発展】P68・P69 を活用して、話を読むことで、支え合っていく大切さを考えさせ継続性をもたせる。</p>
【わたしたちの道徳】はしの 上の おおかみ〔主題名／あたたかい 心で 親切に〕〈親切、思いやり〉				
6月				<p>【発展】P68 を活用して、親切をみつける活動をさせる。</p>
10. おもいきって〔主題名／おもいきって いう〕〈善悪の判断、自律、自由と責任〉				
6月	<p>◎正しいと思うことは、おそれないで行おうとする。</p> <p>*正しいと思うことを、おそれずに行った人に感動することができる。</p> <p>*正しいことを実現したいと思う心が勇気を生むことがわかる。</p> <p>*正しいことを実現するために、自分の弱い心に打ち克つ勇気をもって生活しようとする。</p>	<p>1 事前アンケートの結果を見て、感想をもつ。</p> <p>2 資料『おもいきって』を読んで、話し合う。</p> <p>3 「ぼく」が思い切ってしまう君の前に立って言ったことについて話し合う。</p> <p>4 もし自分が「ぼく」の立場だったら何と言うかを考え、そのときの気持ちを発表させる。</p>	<p>①課外活動……事前アンケートで（勇気を出せなかったこと／勇気を出して行動したこと／勇気があるなあと感心したこと）などを調査する。</p> <p>②道徳の授業……資料『おもいきって』を読んで、話し合わせる。〔本時〕</p> <p>③日常生活……日ごろから何がよいことで何が悪いことであるかを具体的な状況に即してしっかりと教える。</p>	<p>【展開後段】P37 を活用して、よいと思うことを進んで活動するよさを確かめさせる。</p> <p>【終末】P34・P35 を活用して、別の場面に学んだことを広げさせる。</p>

月	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例	『わたしたちの道徳』との関連
【わたしたちの道徳】ぼんたと かんた〔主題名/よいと 思う ことは すずんで〕〈善悪の判断, 自律, 自由と責任〉				
6月				【発展】P34・P35を活用して、どうすればよいのかという実行レベルで考えさせ、資料『ぼんたと かんた』で学んだことを広げさせる。
11. ねこが わらった〔主題名/すなおな ころ〕〈正直, 誠実〉				
6月	◎うそをついたりごまかしたりしないで、素直に伸び伸びと生活しようとする。 *うそをついたり、ごまかしたりしない心が、正直な心であることを知る。 *いつも明るい正直な心でいるためには、自分の本心にうそをついたりごまかしたりしないことが大切であることがわかる。 *正直な心を持ち、明るく伸び伸びと生活しようとする。	1 これまでに、うそやごまかしをしてしまったことを心の中で思い返してみよう。 2 資料『ねこが わらった』を読んで、話し合う。 3 「一ちゃん」が明るく伸び伸びと過ごせるように、声をかけてあげる。	①道徳の授業……資料『ねこが わらった』を読んで、話し合わせる。〔本時〕 ②日常生活……正直な行いをした人を見つけ、それを知らせ合わせる。	【導入】P44・P45を活用して、同じような経験があることを想起させて、学習の視点をもたせる。 【発展】P47を活用して、のびのびと明るい気持ちで過ごせる活動をさせる。
【わたしたちの道徳】お月さまと コロ〔主題名/すなおに のびのびと〕〈正直, 誠実〉				
6月				【展開後段】『お月さまと コロ』で学んだことをP44・P45を活用して、正直にすることのよさについて自分の考えをまとめさせる。 【発展】P47を活用して、明るく正直に過ごすことについて、継続的に自分をみつめさせる。

月	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例	『わたしたちの道徳』との関連
12. ひかりの ほし【主題名／うつくしい ところ】〈感動、畏敬の念〉				
7月	<p>◎心の美しい人の話を聞いて感動し、美しい心をもととする。</p> <p>*心の美しい人の話を聞いて、素直に感動することができる。</p> <p>*美しいというのは、外見の美しさだけでなく、心の美しさでもあることがわかる。</p> <p>*美しい心をもって生活していこうとする。</p>	<p>1 資料『ひかりの ほし』の話を聞く。</p> <p>2 どんな美しい人が出てきたかについて話し合う。</p> <p>3 一つ目・二つ目の星と三つ目の星の美しさの違いについて話し合う。</p> <p>4 友達になりたいと思う星はどの星かについて話し合う。</p> <p>5 心の美しい人は、この話のほかにはないかについて話し合う。</p> <p>6 心の美しい人をもっとさがそうと話し合う。</p>	<p>①読書指導……感動的な話をたくさん読ませる。</p> <p>②道徳の授業……感動的な話の一つとして資料『ひかりの ほし』を取り上げ、話し合わせる。〔本時〕</p> <p>②日常生活……国語の教科書や学級図書の中に、美しい心をもった人はいないかについて調べさせたり、読ませたり、発表させたりする。</p>	<p>【導入】 P110～P113 を活用して、うつくしいけしきに出会うと心がすがすがしくなることを感じさせて学習の視点をもたせる。</p> <p>【発展】 P114・P115 を活用して、うつくしいものを発見させる。</p>
13. かいらんばん【主題名／ちいきは なかよし】〈伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度〉				
7月	<p>◎回覧板をもとに、地域の人々が交流を重ねたり生活を豊かにしたりしてきたことについて理解を深め、地域にかかわろうとする。</p> <p>*地域の人々が力を合わせて支え合っているようすに、いいことだと、心を動かすことができる。</p> <p>*地域の人たちが心をかよわせようとしていることがわかり、地域のつながりを大切にしようという気持ちをもつ。</p> <p>*地域のよさがわかり、地域の行事に進んで参加しようとする。</p>	<p>1 地域の人たちのことを紹介し合う。</p> <p>2 資料『かいらんばん』を読んで、話し合う。</p> <p>3 実際に回覧板で回っている「新聞」や「お知らせ」を見て、地域の人々がどのような気持ちになるかを想像する。</p> <p>4 地域の人たちが心を合わせて行った行事を思い出す。</p>	<p>①道徳の授業……資料『かいらんばん』を読んで、話し合わせる。〔本時〕</p> <p>②生活科の時間……地域のようすを調べさせたり、地域の人々の話を聞いたりさせる。</p> <p>③地域での活動……地域で行われている子ども会行事や祭りへ参加させて、地域の人々と楽しくふれ合わせる。</p>	<p>【導入】 P150・P151 を活用して、自分の町のよさを見つけさせる。</p> <p>【発展】 P152・P153 を活用して、自分の町のよいところを探す活動をさせる。</p>
【わたしたちの道徳】ぎおんまつり【主題名／ふるさとに 親しみを もって】〈伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度〉				
7月				<p>【発展】 P150～P153 を活用して、自分の町のよさを調べる活動をさせる。</p>

月	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例	『わたしたちの道徳』との関連
14. ピーマンマンと よふかし大まおう【主題名／まい日 元気に】〈節度、節制〉				
9月	<p>◎自分の健康に気をつけ、わがままをしないで、けじめをつけた生活をしようとする。</p> <p>*自分の健康を守るために、わがままを我慢し、規則正しい生活することによって、健康に暮らすことよさを感じ取る。</p> <p>*健康のためにはわがままを我慢して、けじめのある生活が大切なことがわかる。</p> <p>*誘惑やわがままを我慢して、けじめのある生活をし、自分の健康を守ろうとする。</p>	<p>1 自分の生活態度を振り返る。</p> <p>2 資料『ピーマンマンと よふかし大まおう』を読んで考える。</p> <p>3 自分たちも「よふかし大まおう」に負けないように、どんなことに気をつけたらよいか、作戦を立てる。</p>	<p>①家庭との連携……事前に保護者会や学級通信などで調査の意図や、授業の意義を伝え、うえて保護者の協力を得て「生活実態アンケート」を行い、児童の実態把握を行う。</p> <p>②道徳の授業……資料『ピーマンマンと よふかし大まおう』を読んで、話し合わせる。〔本時〕</p> <p>③家庭との連携……本時の学習をもとに、家庭でのきまりを話し合わせる。</p>	<p>【導入】 P10・P11 を活用して、自分の生活についてふりかえり、問いをもたせる。</p> <p>【終末】 P20・P21 を活用して、生活のリズムについて考えて規則正しい生活を実行させる。</p>
【わたしたちの道徳】るっぺ どう したの【主題名／きそく 正しく 気持ちの よい 毎日】〈節度、節制〉				
9月				<p>【導入】 P20・P21 を活用して、自分の生活リズムを調べさせ、『るっぺ どうしたの』の読みに入る。</p> <p>【発展】 P12～P15 を活用して、学校生活だけではなく家庭生活など継続的にみつめさせる。</p>
15. おじいさん、おばあさん【主題名／おじいさん、おばあさんの 力】〈家族愛、家庭生活の充実〉				
9月	<p>◎祖父母の存在への関心を高め、感謝の気持ちをもつとともに、敬愛する心をもつ。</p> <p>*おじいさんやおばあさんは、たくさんを知っていたり、自分にできないことができたりしてすごいなあと感心できる。</p> <p>*祖父母への自分の思いや、家庭での聞き取りで知り得たことを整理し、祖父母の人となりを理解し、敬愛を深める。</p> <p>*祖父母への思いを伝える自分なりの方法を考え、実践する。</p>	<p>1 生活科の授業を思い出す。</p> <p>2 資料『おじいさん、おばあさん』を読んで、どのような人か、それはどうしてかを考え、人柄を見る目をもつ。</p> <p>3 これから、おじいさんやおばあさんといっしょにしてみたいことを考える。</p>	<p>①生活科……事前に、「むかしあそびを たのしもう」という活動で、自分の祖父母や地域のお年寄りや交流させる。</p> <p>②道徳の授業……資料『おじいさん、おばあさん』を読み、祖父母の人柄や生き方について調べさせる。〔本時〕</p> <p>③家庭との連携……授業の内容や意図を伝え、交流の機会を設けてもらう。</p>	<p>【導入】 P138・P139 を活用して、家族と自分の関係について話し合わせる。</p>

月	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例	『わたしたちの道徳』との関連
16. きょうから ともだち〔主題名／だれとでも なかよく〕〈友情, 信頼〉				
9月	<p>◎自分のことだけでなく相手の気持ちもよく考えて、互いに認め合いながら仲よく助け合おうとする。</p> <p>*相手の気持ちをよく考えて仲よく助け合う話を読んで、感動することができる。</p> <p>*互いの違いを認め合うことが仲よくなるには大切だということがわかる。</p> <p>*相手の気持ちを考えながら、友達をふやしていこうとする。</p>	<p>1 友達と仲よくするためには、どのようなことが大切かについて考える。</p> <p>2 資料『きょうから ともだち』を読み、3人の気持ちを考える。</p> <p>3 キーワード「みんな ちがって みんな いい」をもとに、互いのよさを話し合う。</p>	<p>①道徳の授業……資料『きょうから ともだち』を読んで、話し合わせる。 〔本時〕</p> <p>②日常生活……朝の会や帰りの会などに、友達からもらった言葉やしてもらったことでうれしかったことを発表させる。</p> <p>③課外や家庭……他学年との交流や他校の児童との交流の機会をとらえて、互いのよさを認め合いながら、仲よく遊ばせる。</p>	<p>【導入】P74を活用して、ともだちはいいなという思いをもたせる。</p> <p>【終末】P75を活用して、ともだちについての考えを深めさせる。</p> <p>【発展】P77を活用して、ともだちとなかよく過ごした経験を想起させ、ともだちをふやす活動をさせる。</p>
【わたしたちの道徳】およげない りすさん〔主題名／ともだちと なかよく〕〈友情, 信頼〉				
9月				<p>【発展】資料『およげない りすさん』で学んだことを、P74を活用して、友達をたくさんつくりたいという意欲をもたせる。</p>
17. ぼくの 町も、ひかっている！〔主題名／じぶんの 町の かがやき〕〈伝統と文化の尊重, 国や郷土を愛する態度〉				
9月	<p>◎郷土の文化や生活に親しみ、愛着を感じる。</p> <p>*それぞれの町には大切に受け継がれている文化があることがわかる。</p> <p>*自分の町のよさがわかると、だれでもそれが好きになったり、大切にしようとする心になったりすることを実感できる。</p> <p>*自分の町で大切に受け継がれている文化を調べてみたいという心もち、実行しようとする。</p>	<p>1 自分の町にあったらいいなと思うものを発表し合う。</p> <p>2 資料『ぼくの 町も、ひかっている！』を読んで、話し合う。</p> <p>3 自分たちの町の「ピカッとひかるいいところ」を考え、発表する。</p> <p>4 これからの自分たちの行動計画を立てる。</p>	<p>①生活科の授業……友達と協力し合って、大きな町の絵地図を作らせる。</p> <p>②道徳の授業……資料『ぼくの 町も、ひかっている！』を読んで、話し合わせる。 〔本時〕</p> <p>③課外：調査活動……自分の町のよいところについて、家の人や地域の人に聞かせる。</p>	<p>【導入】P150・P151を活用して、自分の町のよいところについて話し合わせる。</p> <p>【発展】P152・P153を活用して、自分の町のよいところを探し、紹介することで地域への愛着をもたせる。</p>

月	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例	『わたしたちの道徳』との関連
【わたしたちの道徳】ぎおんまつり〔主題名／ふるさとに 親しみを もって〕〈伝統と文化の尊重, 国や郷土を愛する態度〉				
9 月				【発展】P150～P153を活用して, 自分の町のよさを調べる活動をさせる。

<b>重点主題</b>	18 くつかくし 19 レッドカード	<b>▶ 重点主題名／いけない ことは ぜったい しない〔善悪の判断〕</b>
<p><b>【重点主題のねらい】</b></p> <p>◎よい悪いの判断をして, してはいけないことは絶対にしないようにする。</p> <p>*してはいけないことをすると, みんなが困り, 自分も困ることに気づく。</p> <p>*してはいけないことをすると, 自分がいちばん恥ずかしい思いをすることがわかる。</p> <p>*自分の絶対しないことを決めて, 善悪の判断ができる生活をしようとする。</p>		

18. くつかくし〔主題名／みんなが こまる じぶんが こまる〕〈善悪の判断, 自律, 自由と責任 / 正直, 誠実〉

10 月	<b>◆本時のねらい</b> ○してはいけないことをすると, まわりの人や自分が困ることがわかる。 ○してはいけないことにはどのようなことがあるかを, 生活の中から見つけようとする。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 ある学校で起こったくつがなくなる事件について話し合う。</li> <li>2 資料『くつかくし』を読んで, 話し合う。</li> <li>3 してはいけないことを生活の中で見つける計画を立てる。</li> </ol>	<b>●資料の道徳的・教育的意味</b> 軽いいたずらのつもりで友達のかつをかくしてしまった子どもが, まわりの方の心配するようすを見て, 自分のしてしまったことのたいへんさに気づいていくという話である。その子どもの不安の広がりを想像させることで, いけないことをしてしまうと心に苦しさが広がることに気づかせることができる資料である。
---------	---	---	--

月	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例	『わたしたちの道徳』との関連
19. レッドカード【主題名／しては いけない こと じぶんで 見つける】〈節度、節制 / 善悪の判断、自律、自由と責任〉				
10月	<p>◆本時のねらい</p> <p>○してはいけないことをすると、自分がいちばん恥ずかしいことがわかる。</p> <p>○自分でもぜったいしないことを決めて、それを実行しようとする意志をもつ。</p>	<p>1 してはいけないことにはどのようなことがあったか、発表し合う。</p> <p>2 資料『レッドカード』を読んで、話し合う。</p> <p>3 みんなで紹介し合う。</p>	<p>●資料の道徳的・教育的意味</p> <p>してはいけないことをレッドカードに表して示している。これを見ることで、具体的な、してはいけない行為の具体例を知ることができる。また、レッドカードをもらうという行為を想定させることで、いけないことをすることが、自分のまわりの人や自分の心を傷つけてしまうことに気づかせることができる。そして、自分がしないことを自分で決めて、自分のレッドカードを作るという自立を促す活動へ導くことができる資料である。</p>	<p>【終末】 P42・P43 を活用して、してはいけないことを、自分できめる「レッドカード」に生かして、学んだことをより日常生活に広げさせる。</p>
【わたしたちの道徳】ほんたと かんた【主題名／よいと 思う ことは すすんで】〈善悪の判断、自律、自由と責任〉				
10月				<p>【発展】 P42・P43 を活用して、重点主題で学んだ「してはいけないこと」について、みつめる活動をさせる。</p>
20. 一まいの しゃしん【主題名／生きる 力】〈生命の尊さ〉				
10月	<p>◎生きる喜びに気づき、自他の生命を尊重しようとする。</p> <p>*人間にはけがや病気を治したり、元気に生きようとしたりする「生きる力」があり、それは自分にも備わっていることに気づく。</p> <p>*家族やまわりの人たちは、お互いの生命を大切にしながら生きていることを知る。</p> <p>*何ものにもかえがたい生命を大切に、毎日元気に生活しようとする。</p>	<p>1 けがや病気をしたときの不安な気持ちや思い出す。</p> <p>2 資料『一まいの しゃしん』を読んで考える。</p> <p>3 「生きる力」とはどのような力かを考える。</p> <p>4 保護者からのわが子へ宛てた「命の手紙」を聞く。</p>	<p>①道徳の授業……資料『一まいの しゃしん』を読んで、話し合わせる。〔本時〕</p> <p>②日常生活……生き物の世話をしたり、ふれ合う機会を設けたりして、その思いやりとりを記録するようにさせる。</p> <p>③家庭との連携……保護者に学級通信などで授業の意図を伝え、配布した「げんきカード」に書き込みをしてくれるように促す。</p>	<p>【終末】 P92・P93 を活用して、生きることについて日常生活の中でもまとめさせる。</p> <p>【発展】 P94・P95 を活用して、自分のいのちを支えている人を見つける活動をさせる。</p>

月	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例	『わたしたちの道徳』との関連
---	--------	-------	----------------	----------------

【わたしたちの道徳】ハムスターの 赤ちゃん〔主題名／いのちを大切に〕〈生命の尊さ〉

10 月				<p>【導入】P100・P101 を活用して、生きることについて考えさせ、資料の読みに入るようにする。</p> <p>【発展】P92・P93 を活用して、自分が生きていることを感じとらせ、資料『ハムスターの 赤ちゃん』で学んだことを広げる。</p>
---------	--	--	--	--

21. 雨の 日の みちあんない〔主題名／あたたかい ところ〕〈親切、思いやり〉

10 月	<p>◎お年寄りに温かい心で接して、困っていることを理解し、親切にすることで、自分も喜びを感じ、自分にできることを進んで行おうとする。</p> <p>*お年寄りのようすを温かい心で見ることがわかるようになる。</p> <p>*お年寄りに親切にすることで、自分にも人のために役立てた喜びが生まれることを知る。</p> <p>*親切の喜びを知り、これからも親切な行動を起こそうという意欲をもつ。</p>	<p>1 「あたたかい心」とはどのような心かを想像する。</p> <p>2 資料『雨の 日の みちあんない』を読んで、お年寄りに親切にする温かい心を話し合う。</p> <p>3 お年寄りにしてあげたことを紹介し合う。</p> <p>4 「おとしよりへ」のカードに、自分ができることを書く。</p>	<p>①道徳の授業……資料『雨の 日の みちあんない』を読んで、話し合わせる。〔本時〕</p> <p>②課外……児童が道徳の授業で書いた「おとしよりへ」のカードを家の人に見てもらおう。</p> <p>③登下校……登下校中に会った近所のお年寄りといさづつをするようにさせる。</p>	<p>【終末】P66・P67 を活用して、自分たちの生活の中の親切を見つけて、視野を広げて行動をさせる。</p>
---------	---	--	--	--

【わたしたちの道徳】はしの 上の おおかみ〔主題名／あたたかい 心で 親切に〕〈親切、思いやり〉

10 月				<p>【発展】P68 を活用して、親切をみつける活動をさせる。</p>
---------	--	--	--	-------------------------------------



月	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例	『わたしたちの道徳』との関連
22. みんなが 気もちよく〔主題名／みんなが 気もちよく〕〈規則の尊重〉				
11月	<p>◎みんなが使う物や場所を大切に、互いに気持ちよく生活しようとする。</p> <p>*みんなが使う物や場所には、自分の物と違って自分勝手に使うことができないことがわかる。</p> <p>*みんなが使う物や場所には、それを使う際に、約束やきまりがあることを知る。</p> <p>*みんなが使う物や場所を大切に、互いに気持ちよく生活していこうとする意欲をもつ。</p>	<p>1 「みんなが使う物や場所調べ」の結果をもとに話し合う。</p> <p>2 資料『みんなが 気もちよく』を読んで、話し合う。</p> <p>3 公共物の使い方のなかにある約束やきまりについて話し合う。</p> <p>4 公共物の使い方のなかで自分が守っていききたい約束やきまりを発表する。</p>	<p>①教科や特別活動……自分たちの身のまわりにある「みんなが つかう もの や ばしょしらべ」をさせる。</p> <p>②道徳の時間……資料『みんなが 気もちよく』を読んで、約束やきまりを守る必要性や意義について考えさせる。〔本時〕</p> <p>③課外や特別活動……標語やポスターを作り、教室に掲示させる。</p>	<p>【終末】 P122・P123 を活用して、まとめさせる。</p>
【わたしたちの道徳】黄色い ベンチ〔主題名／やくそくや きまりを まもって〕〈規則の尊重〉				
11月				<p>【導入】 P122 を活用して、みんなが使うものについてのきまりやマナーについて考えさせ、資料の読みに入るようにする。</p> <p>【終末】 P123 を活用して、まとめの活動をさせる。</p> <p>【発展】 P128・P129 を活用して、きまりやマナーを調べる活動をさせる。</p>
23. はたけの 先生〔主題名／お世話になっ ている 人〕〈感謝〉				
11月	<p>◎お年寄りのもっている知恵や技術のすばらしさを知り、日ごろのお世話に感謝する。</p> <p>*お年寄りはその人生経験により、すばらしい知恵や技術をもっていることを知る。</p> <p>*お年寄りの知恵や技術にふれ、尊敬の気持ちを持ち、お世話になっていることに感謝し、ありがとうの心をもつ。</p> <p>*お年寄りに尊敬と感謝の気持ちをもって接するようになる。</p>	<p>1 資料名『はたけの 先生』からどのような先生の話かを予想する。</p> <p>2 資料場面1～4を読み、話し合う。</p> <p>3 資料後半を見て、話し合う。</p> <p>4 自分たちが交流している（交流してきた）方々について振り返る。</p>	<p>①道徳の授業……資料『はたけの 先生』を読んで、話し合わせる。〔本時〕</p> <p>②日常生活……お年寄りとの交流の記録を、教室の背面黒板に掲示し、いつでも振り返ることができるようにする。</p>	<p>【導入】 P82・P83 を活用して、お世話になっている人たちについて話し合わせる。</p> <p>【発展】 P87 を活用して、感謝を伝える活動をさせる。</p>

月	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例	『わたしたちの道徳』との関連
24. わたしたちも しごとを したい【主題名／かかりの しごとはいい 気もち】〈勤労，公共の精神〉				
11月	<p>◎働けば、まわりの人が喜んでくれたり、自分もいい気持ちになったりすることがわかり、係りの仕事をしっかりしようと思うようになる。</p> <p>*人のために働いている人を見て、立派だなあという気持ちをもつことができる。</p> <p>*人のために働けば、まわりの人が喜んでくれるだけでなく、自分もうれしくなることがわかる。</p> <p>*人のためになる係りの仕事を進めようになる。</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 学級の係りの仕事について話し合う。</li> <li>2 資料『わたしたちも しごとを したい』を読んで、話し合う。</li> <li>3 わたしたちも、ポンタのように考えて係りの仕事をしたことはないかについて話し合う。</li> <li>4 これからの学級の係りの仕事についての、自分の考えをまとめて発表する。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①道徳の授業……資料『わたしたちも しごとを したい』を読んで、話し合わせる。〔本時〕</li> <li>②特別活動……働くことみんなが喜ぶ、自分もいい気持ちになるという考えをもって、学級の仕事をしように指導する。</li> </ol>	<p>【導入】P130・P131 を活用して、自分たちのまわりにはどのような仕事があるか話すことで、学習の視点をもたせる。</p> <p>【終末】P132・P133 を活用して、自分の仕事についてまとめさせる。</p>
【わたしたちの道徳】森の ゆうびん屋さん【主題名／はたらく ことの よさを かんじて】〈勤労，公共の精神〉				
11月				<p>【導入】P130・P131 を活用して、はたらくことについて考えさせ、資料の読みに入るようにする。</p> <p>【展開後段】P132 を活用して、はたらくことについての自分の考えをまとめる。</p> <p>【発展】P133 を活用して、自分の仕事について調べる活動をさせる。</p>
25. ほんとうに ほしい もの【主題名／おかねの つかいかた】〈節度，節制〉				
11月	<p>◎物や金銭には人の気持ちが込められていることがわかり、大切にしようとする。</p> <p>*物や金銭には人の心が込められていることに気づく。</p> <p>*人の心の思いを生かし、人の役に立つ金銭の使い道を考えることが大切であるとわかる。</p> <p>*むだ遣いをやめて、金銭を大事に使うとする。</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 これまでのお金の使い方でもだ遣いがなかったかをふり返る。</li> <li>2 資料『ほんとうに ほしい もの』を読み、金銭の使い方について考える。</li> <li>3 自分のお小遣いの使い方を考える。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①日常生活……一回にいただくお小遣いの金額や、ほしい物について話題とする。</li> <li>②道徳の授業……資料『ほんとうに ほしい もの』を読んで、話し合わせる。〔本時〕</li> <li>③家庭……親子で、お小遣いの金額やほしい物について話し合わせる。</li> </ol>	<p>【導入】P10・P11 を活用して、気もちよく過ごすポイントを考えさせながら、お金の使い方についても問いをもたせる。</p>

月	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例	『わたしたちの道徳』との関連
---	--------	-------	----------------	----------------

【わたしたちの道徳】るっぺ どう したの〔主題名／きそく 正しく 気持ちの よい 毎日を〕〈節度、節制〉

11 月				【発展】P12～P15 を活用して、学校生活だけではなく家庭生活など継続的にみつめさせる。
---------	--	--	--	---

26. 小さな ゆきうさぎ〔主題名／おさない 人に おもいやりを〕〈親切、思いやり〉

12 月	<p>◎幼い人がしていることや考えていることを思いやり、自分にできる精いっぱいのことをして、相手の成長をともに喜ぼうとする気持ちをもつ。</p> <p>*幼い人のようすを温かい心で見ること で、どんなことに困っているか、どんなことをがんばっているかがわかるようになる。</p> <p>*幼い人に親切にすることで、自分にも人の役に立つ喜びが生まれることを知る。</p> <p>*親切の喜びを知り、これからも親切な行動を起こそうという意欲をもつ。</p>	<p>1 1年生の考えていることに関心をもつ。</p> <p>2 資料『小さな ゆきうさぎ』を読んで、きみちゃんのけんちゃんを思う心の温かさについて話し合う。</p> <p>3 学校で1年生をずっと見てきて、どのようなことを感じてきたかを話し合う。</p> <p>4 4月からがんばってきた1年生に、励ましの手紙を書く。</p>	<p>①道徳の授業……資料『小さな ゆきうさぎ』を読んで、話し合わせる。〔本時〕</p> <p>②生活科………学校探検や遊びの国など、1年生とともに学習する場を設ける。</p> <p>③学級活動………「がんばって いる 1年生にプレゼントを おくろう」という活動を計画させ、1年生の成長をともに喜ぶ場を設ける。</p>	【終末】P68・P69 を活用して、助け合って生きることについて、視野を広げてまとめさせる。
---------	---	--	---	--

【わたしたちの道徳】はしの 上の おおかみ〔主題名／あたたかい 心で 親切に〕〈親切、思いやり〉

12 月				【発展】P68 を活用して、親切をみつける活動をさせる。
---------	--	--	--	------------------------------

月	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例	『わたしたちの道徳』との関連
---	--------	-------	----------------	----------------

27. しあわせの 王子〔主題名／しあわせの 人〕〈感動、畏敬の念〉

12月	<p>◎人の心の美しさに感動し、自分もそのような人になろうとする。</p> <p>*心の美しい人の話を聞いて、感動することができる。</p> <p>*困った人がいたら助けずにはいられない心をもった人は、心の美しい人であることがわかる。</p> <p>*その人は、人が幸せになると自分も幸せを感じる人であることがわかる。</p> <p>*そのような幸せな人になりたいと思うようになる。</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 前授業で学習した「心の美しい人の話」を中心に話し合う。</li> <li>2 資料『しあわせの 王子』も心の美しい人の話であることを聞き、どのような心の人か興味をもって読もうとする。</li> <li>3 資料『しあわせの 王子』を読んで、王子の心の美しさについて話し合う。</li> <li>4 『しあわせの 王子』という題名がついているが、幸せなのはだれかについて話し合う。</li> <li>5 「人が喜ぶことが自分の喜びになる」という心をもった人について話し合う。</li> <li>6 心の美しい人を、もっとさがそうと話し合う。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①日常生活……心の美しい人の話を調べる活動を行わせる。</li> <li>②道徳の授業……資料『しあわせの 王子』を読み、話し合わせる。〔本時〕</li> <li>③日常生活……「人が喜ぶことが自分の喜びになる心」をもった人を調べさせる。</li> </ol>	<p>【導入】 P110～P113 を活用して、うつくしいけしきに出会うと心がずがずがしくなることを感じさせて学習の視点をもたせる。</p> <p>【発展】 P114・P115 を活用して、うつくしいものを発見させる。</p>
-----	---	---	---	---

28. あいさつって なあに〔主題名／あいさつって なあに〕〈礼儀〉

1月	<p>◎気持ちのよいあいさつ、言葉づかい、動作などに心がけて、明るく接する。</p> <p>*明るくあいさつすると、その気持ちが相手にも伝わり、自分も相手も明るい気持ちになれることがわかる。</p> <p>*あいさつや言葉づかいは、時・場所・相手によって異なり、使い分けが必要なおことに気づく。</p> <p>*自分から進んで元気にあいさつしようとする。</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 なぜあいさつをするのか、どのようなよさがあるのかを考える。</li> <li>2 あいさつのよさを考えながら、資料『あいさつって なあに』を読む。</li> <li>3 あいさつには、どのような力があるのかについて話し合う。</li> <li>4 自分のまわりの「あいさつパワー」を思い出して発表する。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①道徳の授業……資料『あいさつって なあに』を読んで、話し合わせる。〔本時〕</li> <li>②帰りの会……友達や先生にあいさつの言葉をかけられて、うれしくなったり、元気が出たりしたことを発表させる。</li> <li>③課外や家庭……あいさつを習慣化するための取り組みを家庭にも伝え、家庭からの声を「学級だより」で紹介する。</li> </ol>	<p>【導入】 P58 を活用して、あいさつしたときの気持ちについて考えさせ、資料の読みに入らせる。</p> <p>【終末】 P59 を活用して、気持ちがかわることを確認させる。</p> <p>【発展】 P64・P65 を活用して、あいさつが世界中にあることを知り、あいさつを広げる活動をさせる。</p>
----	---	---	--	--

月	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例	『わたしたちの道徳』との関連
【わたしたちの道徳】たびに 出て〔主題名／気もちの よい ふるまいを〕〈礼儀〉				
1 月				<p>【展開後段】資料『たびに 出て』で学んだことをP58を活用して、あいさつを通して感じ取れる心についてまとめさせる。</p> <p>【終末】P59を活用して、生活の中にある多くの礼儀を調べる活動をさせる。</p>

29. おりがみめいじん〔主題名／がんばる 力〕〈希望と勇気、努力と強い意志〉

1 月	<p>◎自分がやらなければならない勉強や仕事は、しっかりと行う。</p> <p>*自分がやらなければならないことを、しっかりとがんばっている人を見て、えらいなあという気持ちをもつことができる。</p> <p>*自分でやろうと思ったことをしっかりと行うために、「もっとよく」という気持ちをもつことができる。</p> <p>*自分でやろうと決めたことは、工夫して、最後までやり遂げようとする。</p>	<p>1 「がんばる」という言葉は、どのようなときに使っているかを話し合う。</p> <p>2 「がんばる」とはどういうことかを考えながら、資料『おりがみめいじん』を読む。</p> <p>3 自分にも「がんばる力」を出してやり遂げたことがあることを思い出し、工夫したことを発表する。</p>	<p>①道徳の授業……資料『おりがみめいじん』を読んで、話し合わせる。〔本時〕</p> <p>②日常生活……「がんばる力」を出せたことをカードに書かせておく。友達と交換したり、発表したりして、お互いに認め合わせる。</p>	<p>【発展】P25を活用して、自分ががんばっていることを振り返り、学んだことを広げさせる。</p>
--------	--	---	---	--

【わたしたちの道徳】小さな どの つみかさね—二宮 金次郎—〔主題名／自分で やる ことは しっかりと〕〈希望と勇気、努力と強い意志〉

1 月				<p>【導入】P22・P23を活用して、自分がやらなければならないことがあることに気づかせる。</p> <p>【発展】P25を活用して、自分がやらなければならないことを活動させ、家の人からコメントをもらい、学んだことを広げさせる。</p>
--------	--	--	--	---

月	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例	『わたしたちの道徳』との関連
30. なまけにんじゃ〔主題名／がまんできるよ、がんばれるよ〕〈節度、節制〉				
2月	<p>◎怠けたりわがまましたりしないで、やらなければならないことはしっかり行い、けじめのある生活をしようとする。</p> <p>*怠け心やわがままに負けないでけじめのある生活をしようとする気持ちをもつ。</p> <p>*やらなければならないことをしっかりと行うためには、がまんする心やがんばる心が必要だということに気づく。</p> <p>*自分の立てためあてに従って、けじめのある生活をしようとする。</p>	<p>1 教室に怠け忍者がいないかとさがす。</p> <p>2 資料『なまけにんじゃ』を読んで、話し合う。</p> <p>3 怠け忍者の追い出し作戦を考える。</p> <p>4 追い出し作戦が成功するか試してみようと話し合う。</p>	<p>①道徳の授業……資料『なまけにんじゃ』を読んで、話し合わせる。〔本時〕</p> <p>②日常生活（家庭）……自分の立てためあてについて親子で話し合い、定期的に振り返る活動を行わせる。</p> <p>③学級活動・課外……「怠け忍る追い出し作戦」の結果に関しての発表会を開かせる。</p>	<p>【展開後段】P12～P15を活用して、自分の今の生活について振り返る活動をさせる。</p>
【わたしたちの道徳】るっぺ どう したの〔主題名／きそく 正しく 気もちの よい 毎日を〕〈節度、節制〉				
2月				<p>【発展】P12～P15を活用して、学校生活だけではなく家庭生活など継続的にみつめさせる。</p>
31. モムンと ヘーテ〔主題名／ともだちパワー〕〈友情、信頼〉				
2月	<p>◎意見や考えの食い違いや感情のすれ違いがあっても、友達を助けようとする気持ちがあることに気づき、互いに支え合うことで友達関係はさらに深まっていくことがわかる。</p> <p>*友達でも時には対立したり、けんかしたりすることに気づく。</p> <p>*友達は、互いに助け合いたいと思ってることがわかる。</p> <p>*友達を助けて、仲よくしている話を聞いて、いいなあと思う。</p>	<p>1 友達とどのようなことをしているか。また、そのときはどのような気持ちになるかについて考える。</p> <p>2 資料『モムンと ヘーテ』を読み、友達を助けようとする心の変化を読み取る。</p> <p>3 友達のおかげで自分が変わったことを思い出す。</p> <p>4 「ともだちパワー」を集めていこうと意欲をもつ。</p>	<p>①道徳の授業……資料『モムンと ヘーテ』を読んで、話し合わせる。〔本時〕</p> <p>②帰りの会……「ともだちパワー」を発表し合わせる。</p> <p>③読書活動……友達のよさを取り上げた本の読み聞かせをする。</p>	<p>【導入】P75を活用して、友達がいるよさについて話し合わせる。</p> <p>【発展】P77を活用して、友達と仲よく過ごした経験を想起させ、ともだちとの仲を深める活動をさせる。</p>

月	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例	『わたしたちの道徳』との関連
【わたしたちの道徳】およげない りすさん【主題名／ともだちと なかよく】〈友情, 信頼〉				
2月				【発展】資料『およげない りすさん』で学んだことを、P74を活用して、友達をたくさんつくりたいという意欲をもたせる。

**重点主題**

32 わたしの ものがたり  
33 わたしの 力

▶ 重点主題名／生きる 力〔生命の尊重〕

---

【重点主題のねらい】

◎自分が成長したり生きて活動できたりするためには、二つの力があることがわかり、その力を発揮してかけがえのない生命を大切にしようとする。

- \*生きる力には、「わたしの力」と「まわりの人の力」があることがわかる。
- \*「わたしの力」には、「つくった力」と「もらった力」があることがわかる。
- \*自分にも「もらった力」と「つくった力」があることを知り、これからもこの力を発揮して自分の生きる力を高めていこうとする。

32. わたしの ものがたり【主題名／わたしたちの 生きる 力】〈感謝 / 生命の尊さ〉

2月	<p>◆本時のねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○成長の記録を通して、自分の命には生きる力があることに気づく。</li> <li>○生きる力には「わたし（自分）の力」と「まわりの人の力」があることがわかる。</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 自分が生まれたときのように赤ちゃんのときのこと知っていることを知らせ合う。</li> <li>2 資料『わたしの ものがたり』を読んで、命がどのような力で大きくなっていったのかを話し合う。</li> <li>3 見つけた生きる力から、生きる力のAとBの力の違いを話し合う。</li> </ol>	<p>●資料の道徳的・教育的意味</p> <p>たつや君の成長の記録をもとに、自分には「生きる力」があることに気づき、家族の支えや生きる喜びを実感することができる資料である。たつや君の成長をたどりながら自分の「わたしの ものがたり」づくりの意欲を高めることができる。</p>
----	--	--	---

月	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例	『わたしたちの道徳』との関連
33. わたしの力〔主題名／いのちを そだてる〕〈節度、節制 / 生命の尊さ〉				
2月	<p>◆本時のねらい</p> <p>○自分にも「もらった力」と「つくった力」があることを知り、これからもこの力を発揮して自分の生きる力を高めたいこうとする。</p> <p>○家族のつながりや家族の支えがわかり、自分の成長や生きる喜びを実感するとともに、かけがえのない生命を大切にしようとする。</p>	<p>1 資料『わたしの力』を読んで、話し合う。</p> <p>2 前時での「発展」で作った「わたしのものがたり」をもとにしながら、自分の「もらった力」と「つくった力」を見つける。</p> <p>3 見つけた「もらった力」と「つくった力」を互いに知らせ合い、感想を発表する。</p> <p>4 自分の生きる力についてわかったことや感想を家の人へ知らせる手紙を書く。</p>	<p>●資料の道徳的・教育的意味</p> <p>成長の過程には、「もらった力」と「つくった力」がはたらいっていることがわかる資料である。たつや君の「わたしの力」を参考にしながら、自分の「生きる力」について確かめ、命の大切さを実感させることができる。</p>	<p>【発展】 P100・P101 を活用して、生きているすばらしさを感じ取ろうとする活動をさせる。</p> <p>生きているすばらしさを感じながら、みんなで歌い気持ちを高めさせる。</p>
【わたしたちの道徳】 ハムスターの赤ちゃん〔主題名／いのちを大切に〕〈生命の尊さ〉				
2月				<p>【導入】 P100・P101 を活用して、生きることについて考えさせ、資料の読みに入るようにする。</p> <p>【発展】 P92・P93 を活用して、自分が生きていることを感じとらせ、資料『ハムスターの赤ちゃん』で学んだことを広げる。</p>
34. おとす人、ひろう人〔主題名／きれいにすると 気持ちがいい〕〈規則の尊重〉				
3月	<p>◎地域の人とともに、みんなで使う物を大切にしたい社会を築こうとする。</p> <p>*みんなで使う物を大切にすることは、地域社会のために大切なことだとわかる。</p> <p>*みんなで使う物を大切にすることで、自分もうれしくなることがわかる。</p> <p>*みんなで使う物を大切にしようとする。</p>	<p>1 生活科で作成した校区の絵地図の中にある「みんなで使う物」に、印をつけたり、書き加えたりして、そのようすを紹介し合う。</p> <p>2 資料『おとす人、ひろう人』を読んで、話し合う。</p> <p>3 1の活動で出たみんなで使う物に対して、自分で気をつけたいことを考える。</p>	<p>①生活科……………校区の絵地図を作成させる。</p> <p>②道徳の授業……………資料『おとす人、ひろう人』を読んで、話し合わせる。 [本時]</p> <p>③学級活動……………道徳の学習で完成させた、みんなで使う物のある場所をかきこんだ絵地図を掲示し、道徳の学習の成果を、○印をつけて紹介し合わせる。</p>	<p>【導入】 P118・P119 を活用して、きまりがあるわけを話し合わせる。</p> <p>【発展】 P128・P129 を活用して、きまりを見つける活動をさせる。</p>



月	主題のねらい	展開の概要	関連・連携のための指導計画例	『わたしたちの道徳』との関連
---	--------	-------	----------------	----------------

【わたしたちの道徳】黄色い ベンチ【主題名／やくそくや きまりを まもって】〈規則の尊重〉

3 月				<p>【導入】P122 を活用して、みんなが使うものについてのきまりやマナーについて考えさせ、資料の読みに入るようにする。</p> <p>【終末】P123 を活用して、まとめの活動をさせる。</p> <p>【発展】P128・P129 を活用して、きまりやマナーを調べる活動をさせる。</p>
--------	--	--	--	---

35. はると おはなししよう【主題名／はると なかよし】〈自然愛護〉

3 月	<p>◎身近な自然に親しみ、動植物にやさしい心で接する。</p> <p>*自然によって季節を感じることで、自然とともに生きている心地よさに気づく。</p> <p>*自然に親しむと人はやさしい気持ちになることに気づき、自分からも自然に対してやさしい心で接しようとする。</p> <p>*日常生活や生活科の学習などで、自分たちも自然とふれ合っていることに気づき、進んで自然に親しみ、植物に語りかけるなどして、自然を感じる心を大切にしようとする。</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 今までに見つけている「春」を発表する。</li> <li>2 春を思い浮かべながら資料『はるとおはなししよう』を読む。</li> <li>3 春になったら、お話ししたい動植物を考え知らせ合う。</li> <li>4 自分の選んだ「春」と話してみたいことをお手紙にまとめる。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①道徳の授業……資料『はるとおはなししよう』を読んで、話し合わせる。〔本時〕</li> <li>②生活科……「はるを みつけよう」マップを作成させる。</li> <li>③読書活動など……春を題材にした詩や、木や花とふれ合いのある物語を紹介したり、読み聞かせたりする。</li> <li>④音楽……「春が来た」「どこかではるが」など、季節の歌を歌う。</li> </ol>	<p>【発展】P104・P105 を活用して、生きものと会話をする活動をさせる。</p>
--------	--	--	---	--

【わたしたちの道徳】虫が 大すき ―アンリ・ファール―【主題名／生きものに やさしく】〈自然愛護〉

3 月				<p>【導入】P103 を活用して、学習の視点をもたせる。</p> <p>【発展】P104・P105 を活用して、生きものや自然に親しむ内容の読書へ広げさせる。</p>
--------	--	--	--	--